Super Cat
安全運転を支えるテクノロジー

12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

- 初めてご使用になるときは、必ず付属のシガープラグコードを使い、10時間以上(例 1日2時間で5日)充電しながらご使用ください。シガープラグコードを接続しない状態で、GPS/NモードスイッチをONにしていただいても、GPS測位されない場合があります。
- GPS測位は、電流を多く消費するため、電池を消耗していると測位できないことがあります。また、特に初めてのときなど、地理的状況により20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

⚠注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

SGP-250N

GPSアンテナ一体型コードレスレーダー探知機

SGP-250N

取扱説明書

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⚠警告

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠警告

シガープラグコード使用時

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源ボタンで電源を切ってください。特にシガープラグコードを接続している場合は、シガーライターソケットに常時、電源が供給される車種があります。また、長期間ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコード使用時

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

主な特長

1 GPS測位機能

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報することのできなかった、ループコイル式や光電管式のオービス、そしてLHシステムも、音声で警告します。

① GPSボイス警告

『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)高速道(または、一般道)ループコイル式オービスがあります』とボイスで警告。

- オービス識別ボイス…オービスまでの距離約1kmと約500m手前の2カ所で、ループコイル式・LHシステム・光電管式・Hシステムとオービスの種類を識別して、ボイスで警告。
- 方向識別ボイス…進行方向に設置されたオービスのみを警報し、反対方向のオービスは警報しません。さらに進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。
- 高速/一般道識別ボイス…オービスが高速道路上に設置されているか、一般道路上のものかを識別してお知らせします。

② トンネル出口警告

GPSの電波を受信できないトンネルの入口の手前で、出口付近のオービスをボイスで警告。
『ポーン このトンネルの出口付近に高速道(または、一般道)LHシステム式オービスがあります』

③ マイ・エリア警告

移動オービスの出没位置など、登録したいエリアを30カ所メモリーでき、近づくとボイスで警告。
『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)セットしたエリアがあります』

④ MSC※/ミニマムセンス制御

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、レーダー警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、登録ポイントから半径約300mエリアにおけるレーダー受信感度を最低に制御。
※Minimum Sensitivity Controlの略です。

⑤ オービスデータ更新対応

ご要望により、最新のオービスデータに更新可能。
(有料 ¥5,000 データベースは半年に1回程度更新されます)

2 iDSP※

統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、超高精度識別を実現。
※integrated Digital Signal Processing Technologyの略です。

① ボイス識別

- Nシステム検知…「自動車ナンバー自動読み取り装置」(Nシステム)を検知すると、『Nシステムです』と取締り機とは区別して、男性のボイス(男声)でお知らせ。[特許出願中]
- 新Hシステム識別…『Hシステムです』と通常波と区別して、女性のボイス(女声)でお知らせ。
- ステルス識別…『ステルスです』と通常波と区別して、女性のボイス(女声)でお知らせ。

② GPS排除

カーナビのモレ電波を識別し、誤警報を排除。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正。
[特許 第3044004号]

3 EXTRA/エクストラ感度 ☆☆☆☆

ハイレベルの受信性能を徹底追求したエクストラ感度。

- Wスーパーヘテロダイン…スイープオシレーター式超高精度受信方式。[特許 第1720227号]
- フリップチップinアンテナ…高周波基板へのアンテナ接続による損失を極小に抑えたオリジナルチップ搭載で高感度を実現。[特許 第3229564号]
- X/Kツインバンド…Xバンド/Kバンドの2バンド対応。
- 後方受信…後方からの取締りレーダー波も確実にキャッチ。

4 レーダーアラーム機能

① オケメロアラーム…𝄞「カルメン」を臨場感のあるオーケストラ演奏で警報。
② Wアラーム方式…音(メロディ/電子音)&光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報。
③ 接近テンポアップシステム…レーダー式取締り機に近づくに従い、電子音がテンポアップ。
④ ミュートボタン…レーダー波の受信を確認後はワンタッチで警報音をカット。

5 350.1MHz取締無線受信

① 会話受信…取締り現場無線の交信の内容が丸ごと聞ける。
② ボイスガイド…『チェックポイント。電波を受信しました。ご注意ください』と女性のボイス(女声)でお知らせ。

6 自動制御機能

① ASS※/最適感度選択…走行時間の経過に応じて、取締りレーダー波の最適な受信感度を自動的に選択。
[特許 第3051676号]
※Auto Sensitivity Selectionの略です。
② MAC※/不要警報カット…自動ドアなど、低速走行中や停車中のムダな警報を自動的にカット。
※Motion-sensor Alarm Controlの略です。
③ オートディマー…ランプ点灯から、約30秒で自動的にライトダウン。
④ オートクワイアット…アラームの鳴り始めから、約30秒で自動的にボリュームダウン。
⑤ オートパワーOFF…駐車後、電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源OFF。
⑥ ローバッテリーアラーム…バッテリーの充電が必要になると、音&光のダブルでお知らせ。
『シガープラグコードを接続し、バッテリーを充電してください。GPS機能が休止します』

ご使用にあたって

使用上のご注意

■周辺の環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。
■走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
■一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

各部の名称と働き

つづく

レーダー操作部

レーダー波アンテナ（前面）
取締りレーダー波を受信します。

DCジャック[DC12Ｖ]（12V車専用）
付属のシガープラグコードを接続します。（14ページ）

電源スイッチ[PWR]
ONにすると電源が入ります。（22ページ）

MAC/ASSボタン[MAC/ASS]
MACシステムの設定/解除ができます。MACシステムをONに設定すると、自動的にASS機能が働きます。（25ページ）

受信感度セレクトボタン[SENS]
MACシステムを解除しているときは、走行環境や条件に合わせて受信感度が選べます。（24ページ）

パイロットランプ[PWR/MAC]
電源が入ると点滅します。また、警報の状態をランプの色で表示します。（22、25、27ページ）

感度ランプ [SENS]
受信感度をランプの色で表示します。（24、27ページ）

アラームランプ
取締りレーダー波を受信すると赤く点滅し、GPSの電波をサーチ中またはGPSによる警報中は青く点滅します。（29、39、41ページ）

Nシステムセンサー（前面）
Nシステムを検知します。（33ページ）

MACレベルスイッチ[MAC LEVEL]
MACシステムの振動の検出感度の調整ができます。（26ページ）

350.1スイッチ[350.1]
350.1受信機能の設定/解除および動作モードを選べます。（36ページ）

音量ツマミ[VOL]
警報音の音量調節ができます。（22ページ）

テスト&ミュートボタン[T/MUTE]
警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。（22、28ページ）

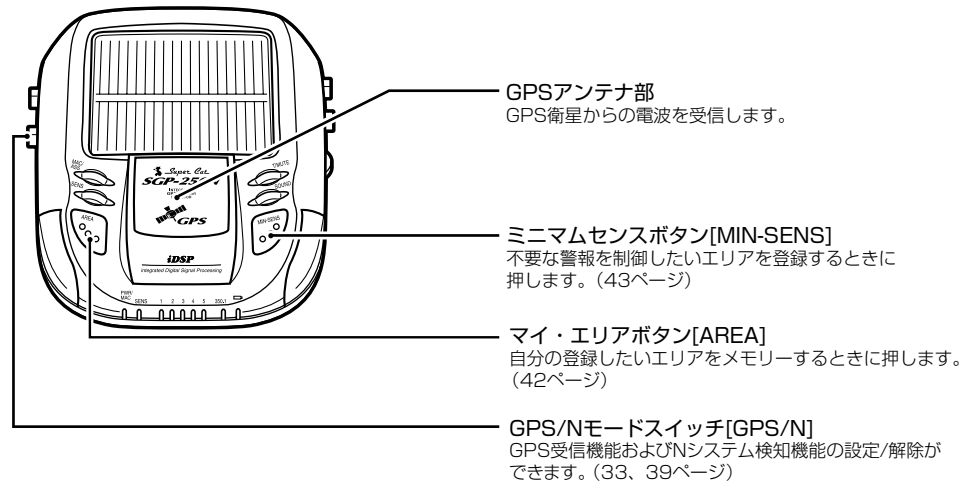
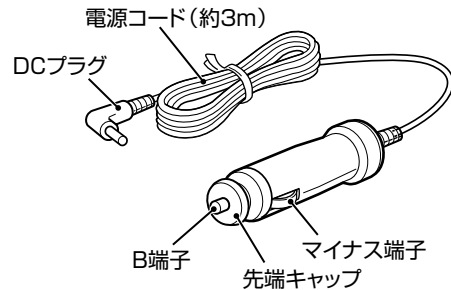
警報音セレクトボタン[SOUND]
警報音が選べます。（23ページ）

バッテリーランプ[▭]
テスト&ミュートボタンが押されている間はバッテリーの残量を表示し、バッテリーが消耗してくると点滅します。（16、17ページ）

350.1ランプ[350.1]
350.1MHzの電波を受信したとき、緑色に点滅します。（37ページ）

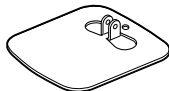
シグナルメーター[1～5]
受信している取締りレーダー波の強さに応じて、点灯数が左から右へ増えていき、右端に達すると、すべてが点滅します。（29ページ）

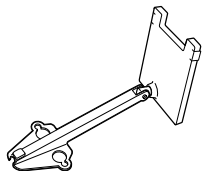
つづく

GPS操作部

シガープラグコード

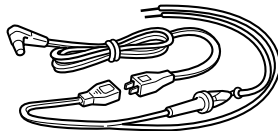
付属品

■ご使用前に付属品をお確かめください。

●ニッケル水素電池(1)

●フロントガラス用ベース/バッテリーカバー兼用ブラケット(1)
※お買い上げ時はセットされています。

●ダッシュボード用ベース(1)

● シガープラグコード(1)
● 吸着盤(2)
● クッションカバー(1)
● マジックテープ(1)
● 取扱説明書・保証書(1)

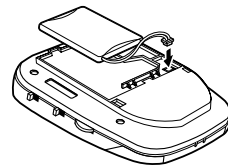
別売品のお知らせ

■電源直結コードOP-4(約4m)
1,500円(税別)
シガーライターソケットを使わずに、アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。

■交換用ニッケル水素電池
2,000円(税別)

電源について

つづく

ソーラーバッテリーの充電のしかた

1 付属のニッケル水素電池を接続する

本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。

2 ソーラープレートに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラープレートに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。
ただし、初めてご使用になるときは、GPS/NモードスイッチをONにして、付属のシガープラグコードを使い、必ず10時間以上(例 1日2時間で5日)充電しながらご使用ください。GPS測位は、電流を多く消費するため、電池の消耗により測位できないことがあります。また、特に初めてのときなど、地理的状況により測位に20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、ロングライフ設計および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。

充電は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。

つづく

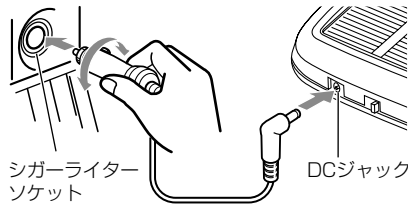
ソーラーバッテリーの充電のしかた（つづき）

満充電から無警報の状態で、約30時間※の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続き、ソーラーバッテリーからの充電が充分できなかったり、GPS測位の状況によっては、バッテリーの消耗が激しく、30時間以内にローバッテリーアラーム(バッテリーランプが赤色に点滅)の状態になることがあります。
※連続使用時間は､各種機能の設定状態により異なります。

付属のバッテリーには寿命があります。充電が充分できなくなったら、新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが、約3〜5年を目安にしてください）
交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

シガーライターソケットからの充電のしかた

1 付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

2 10時間以上充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリーランプが緑色に点灯することを確認する(17ページ参照)

⚠警告

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から、約10時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(12ページ参照)
- 本機をバッテリーなどと直接接続すると破損の原因となります。絶対におやめください。
- シガープラグコードで充電・使用するときは、MACシステムは正常に動作しないことがあります。その場合はMACシステムを解除してご利用ください。

■オートパワーOFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。(振動を検出すると電源が入ります)

※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。
使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※ 走行中でも、停車や低速運転などで、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、『シガープラグコードを接続し、バッテリーを充電してください。GPS機能が休止します』とボイスでお知らせします。(GPS/NモードスイッチがOFFのときはお知らせしません)
付属のシガープラグコードを使い、充電してください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態 (GPS測位機能は動作しなくなります)	赤色点滅 シガープラグコードを接続し、バッテリーを充電してください。GPS機能が休止します。 ボイスでお知らせします。
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (GPS測位機能およびレーダー探知機能のどちらも動作しなくなります)	赤色点滅 ピピッ… ピピッ… ピピッ… ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

• 日中はバッテリーランプの赤色の点滅が見えにくい場合がありますので、ご注意ください。

■バッテリーの残量表示について

シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

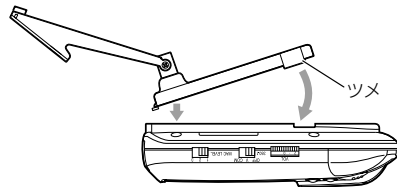
バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態 (GPS測位機能は動作しなくなります)	赤色点灯

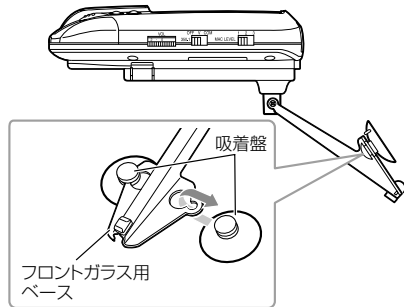
• シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
• 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
• 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

フロントガラスに取り付ける

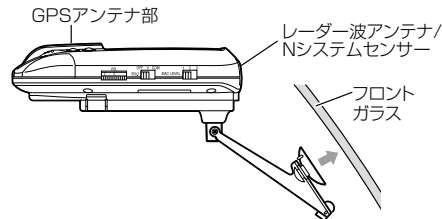
GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界のよい場所に取り付けてください。

1 ブラケットを本体に取り付ける。

コードを挟まないように注意して閉めます。

ブラケットを取りはずすときは、両側のツメを押しながら、引き上げて外します。

2 フロントガラス用ベースに、吸着盤を取り付ける

お買い上げ時に、ブラケットとフロントガラス用ベースがセットされています。

3 フロントガラス下部に貼り付ける

吸着盤に水などをつけて、フロントガラスの中央下部のGPSの電波を受信しやすい場所に貼り付けます。

GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナ/Nシステムセンサーの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないように取り付けます。

⚠警告

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

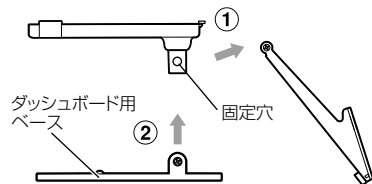
4 道路に対して、本体を水平にする

アンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整します。

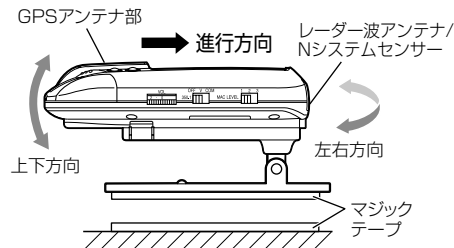
⚠注意

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

ダッシュボードに取り付ける

1 ブラケットから①フロントガラス用ベースをはずし、②ダッシュボード用ベースを取り付ける

ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジ山のつぶれの原因となります。

- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナ/Nシステムセンサーの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 付属のマジックテープで貼り付け、本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する

- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。

⚠警告

エアバックの上に取り付けないでください。万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠警告

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。シガープラグコードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線を行ってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠注意

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

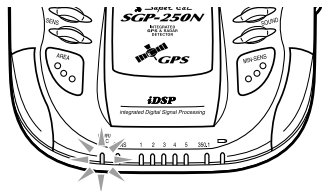
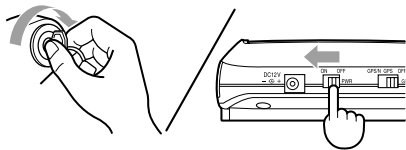
取り付けかた

音量/警報音/受信感度を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

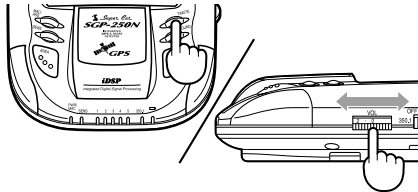
つづく

1 電源を入れる

エンジンを始動し、電源スイッチをONにします。

ターン・オン・ビープ(🔊)ピロッピロッ…)が鳴り、パイロットランプが点滅します。

- 350.1受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。（36ページ参照）

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはオケメロ)が鳴り続けます。

1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』『Nシステムです』…(GPS/NモードスイッチがGPS/Nのとき)

1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

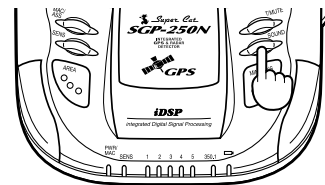
『ピピピピッ』『チェックポイント』『電波を受信しました』『ご注意ください』(350.1スイッチがボイスモードのとき)

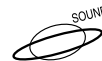
1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

警報音(電子音またはオケメロ)

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。（28ページ参照）

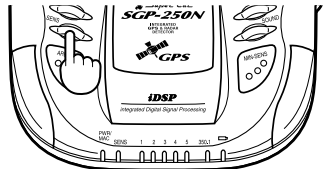
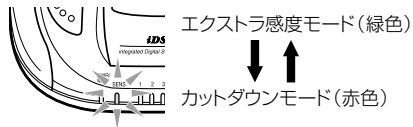
3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。

押すたびに切り換わります。

電子音 ⇄ オケメロ　SOUND

選択した警報音は、テスト&ミュートボタンを押すと確認できます。
オケメロアラームに設定すると「カルメン」のオーケストラ演奏で警報します。（オケメロ）

4 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトボタンで切り換えます。

MACシステムがON(パイロットランプが赤色または緑色の点滅)の状態では、『ビビッ』と鳴り、感度は切り換わりません。MAC/ASSボタンを押して、OFF(パイロットランプがオレンジ色の点滅)の状態にしてください。(25ページ参照)

感度ランプの点滅色は、ボタンを押すたびに切り換わります。

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑	エクストラ感度モード	郊外や高速道路
低い	カットダウンモード	市街地

MACシステムに設定すると、選択した受信感度モードにかかわらずASS機能が働き、走行時間の経過により受信感度がカットダウンモードからスーパー感度、エクストラ感度へと変化します。(27ページ参照)

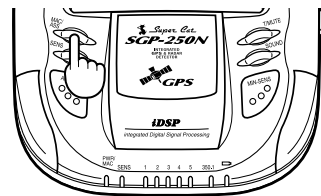
MACシステムに設定した状態で受信感度セレクトボタンを押しても、『ビビッ』と鳴り、感度は切り換わりません。

MACシステムの使いかた

MACシステムは、内蔵のモーションセンサーが走行中のロードノイズなどの連続的な振動を検出して、走行中か停車中かを判断し、警報を制御します。
MACシステムがOFF(解除)の状態では、電波を受信すると常に警報音が鳴ります。

1 アイドリング中に電源をONにする

2 MAC/ASSボタンを押してONにする

パイロットランプが赤色または緑色の点滅の時は、ON(設定)の状態です。
パイロットランプがオレンジ色の点滅のときは、OFF(解除)の状態ですので、MAC/ASSボタンを押してONにします。

MAC/ASSボタンを押すたびに、MACシステムのON/OFFが切り換わります。

3 動作を確認する

走行しはじめて、数秒後にパイロットランプが緑色の点滅になり、停車すると、数秒後に赤色の点滅になります。

4 調整する

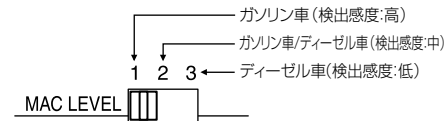
手順3で正しく動作しない場合は、MACレベルスイッチを切り換えてください。

MACレベルスイッチについて

MACレベルスイッチについて

MACシステムは、走行中のロードノイズなどの連続的な振動と、停車中のアイドリングなどによる振動の種類や大きさの差を検出し、動作します。ご使用になる車種や走行状況に合わせてMACレベルスイッチを切り換え、振動の検出感度を調整してください。

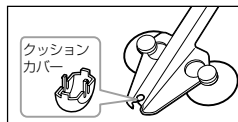
■MACレベルスイッチの設定目安

MAC LEVEL
1　ガソリン車（検出感度:高）
2　ガソリン車/ディーゼル車（検出感度:中）
3　ディーゼル車（検出感度:低）

目安として、速度が約30km/hになるまでに、パイロットランプが緑色の点滅になる位置にしてください。

MACの働きによりパイロットランプが赤色に点滅中は警報しません。（取締りレーダー波を受信しません）

- 振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。

MACシステムを使用しない場合はMACレベルスイッチは1に設定してください。

- エアコンを使っているときや、カーオーディオなどの音量が高いとき、ワイパーを使用しているとき、エンジンをかけた直後（エンジンが安定するまで）などは、MACシステムが正常に働かないことがあります。
- MACシステムがON（設定）で、警報をカットしている状態（パイロットランプが赤色の点滅）でも、Nシステム検知機能は働きます。
- MACレベルスイッチを切り換えても、振動を検出しにくい場合は取り付けかたや取り付け場所を変えてみてください。またフロントガラスに取り付けてご使用の場合で、MACレベルスイッチを切り換えても正常に働かない（高速走行中でもパイロットランプが緑色の点滅にならない）ときは、クッションカバーを取り付けてみてください。

ASS機能について

パイロットランプの点滅色と警報動作

MACシステムに設定すると、ASS機能が働いて低速走行/停車中の不要な警報を抑え、走行時間の経過に応じて受信感度が変化します。また、スーパー感度からエクストラ感度へ自動的に変化するとき、『ピッポッ』という確認音が鳴ります。

	車の状態	停車	走行中（MACレベルスイッチの調整により、一定の振動を越えたとき）			停車
MACシステム設定時	パイロットランプ	赤色点滅	数秒 → 緑色点滅			数秒 → 赤色点滅
	感度ランプ	赤色点滅	約20秒	約120秒 オレンジ色点滅	それ以降 緑色点滅	赤色点滅
	警報状態 受信感度	警報しない	警報する カットダウンモード	スーパー感度モード	エクストラ感度モード	警報しない
MACシステム解除時	パイロットランプ	オレンジ色点滅				
	感度ランプ	マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点滅。 カットダウンモード（赤色）/エクストラ感度（緑色）				
	警報状態 受信感度	警報する マニュアルモードで設定した受信感度				

警報中は音による振動を感知し、低速走行や、停車しても警報が続くことがあります。このようなときは、テスト&ミュートボタンを押して、警報をカットしてください。（28ページ参照）

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

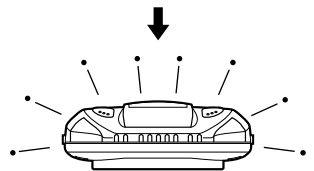
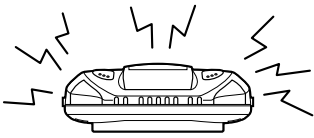
警報音が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

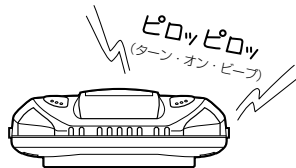
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびウルトラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。

• バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビープのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。
• 350.1受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。（36ページ参照）

レーダー警報機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音（メロディ/電子音）と光（アラームランプ/シグナルメーター）のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。
シグナルメーター	左から右へ点灯数が増し、右端へ達したあとに、すべてが点滅します。 1 2 3 4 5 →

• オケメロアラームはテンポアップしません。
• 警報が続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。（オートクワイアット/ディマー機能）

iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』と女性のボイス(女声)でお知らせします。**[ステルス識別]/[新Hシステム識別]**

さらに「自動車ナンバー自動読み取り装置」(Nシステム)を、取締り機とは区別して検知することに業界で初めて成功し、なおかつ、聞き間違いのないように『Nシステムです』と男性のボイス(男声)でお知らせします。**[Nシステム検知：特許出願中]**

またカーナビからのGPSのモレ電波など妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。**[GPS排除：特許 第3044004号]**

※ iDSPを解除することはできません。
※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ボイス識別

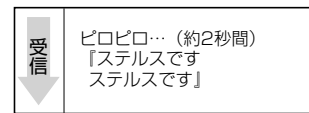
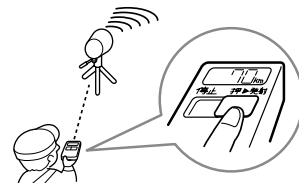
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。
このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

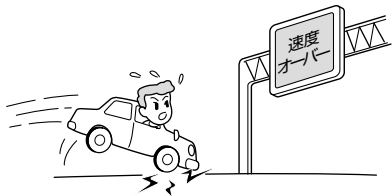
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイス(音声)でお知らせすることがあります。
- オケメロアラームを選んでいるときでも、ステルス型取締り機や新Hシステムの電波を受信するとボイス(音声)でお知らせします。

<ステルス波を受信したとき>

●専用の女性のボイス(女声)でお知らせします。

ピロピロ…（約2秒間）
『ステルスです
ステルスです』

5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。

ボイス識別

新Hシステムについて

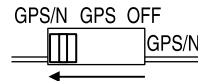
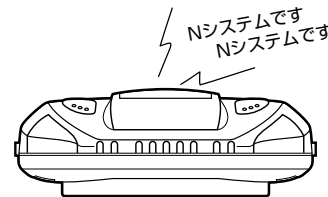
電波を用いる自動速度取締り機（オービス）の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波（周波数は同一）を使用しているため、従来機では探知（受信）しにくくなります。
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

<新Hシステム波を受信したとき>

●はじめは選んでいる通常の警報音（オケメロ、電子音）が鳴りますが、識別すると女性のボイス（女声）でお知らせします。

Nシステム検知について

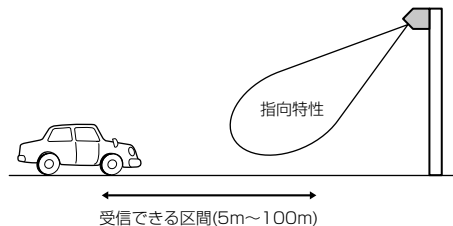
「自動車ナンバー自動読み取り装置」通称『Nシステム』は新Hシステムなどに似ていますが、レーダー波を使用した取締り機ではないため、従来機では通過しても何も反応しませんでした。
そのため、「新型の取締り機ではないか？」といった疑問や不安を持ちながら運転していた人も多かったようです。
本機は、このNシステムが発している特殊な信号を、識別および検知し、さらに、スピード違反の取締りとは区別して、『Nシステムです』と男性のボイス（男声）でお知らせします。**[Nシステム検知：特許出願中]**

● お買い上げ時には、GPS/NモードスイッチはOFFになっています。Nシステム検知する場合は、GPS/Nの位置に切り換えてください。

<Nシステムを検知すると>

●『Nシステムです。Nシステムです。』と男性のボイス（男声）でお知らせします。

• ボイス識別後、1分以内にもう1度Nシステムを検知しても、ボイス（男声）でのお知らせはしません。
• ボイス識別中に、取締りレーダー波を受信すると、取締りの警報音が優先されます。

ボイス識別

Nシステム検知について(つづき)

●Nシステムは取締り機ではなく、その名のとおり「自動車ナンバー自動読み取り装置」であり、その信号の指向角が鋭いため、信号を受信できる区間が5m〜100mと短くなります。
そのため、走行中にNシステムを検知しても、ボイス(男声)のお知らせが、直前または通り過ぎてからのように感じる場合もあります。

●**Nシステムは常時稼動しているとは限りません。稼動していない状態では信号を受信できませんので、Nシステムの検知はできません。**
●Nシステムが発しているものと同種の信号を使用している次の機器については、誤検知する場合があります。
•オービスのカメラ
•高速道路入り口のナンバー読み取り装置
•駐車場入り口のナンバー読み取り装置
•Tシステム(旅行時間予告システム)
●次のようなとき、ごくまれに誤検知する場合があります。
•液晶カメラやカーナビの画面に、本機を直接向けたとき
•朝日または夕日(地平線または水平線に近い状態)に向かって走行しているとき
•バイクなどのイグニッションノイズ

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。
本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**(自動識別&排除設定機能)**
さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。
(自動補正機能)　[特許 第3044004号]

カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。
あらかじめご了承ください。

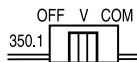
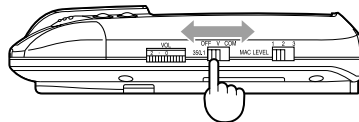
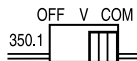
350.1受信機能の使いかた

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。
350.1受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。設定すると、この連絡用の電波を受信したとき、350.1ランプが点滅し、その交信内容を聞くことや、ボイス警告することができます。（取締り現場での連絡方法には、350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式もあります）

連絡のための無線交信は数秒で終わることが多いため、コミュニケーションモード（会話）で受信しても交信内容を聞き取ることは難しくなります。通常はボイス（音声）モードに設定されることをお勧めします。

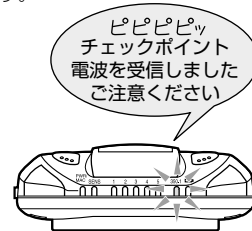
※カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイス警告したり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承願います。

1 設定する

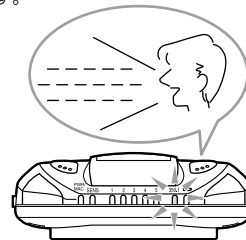
350.1スイッチで動作モードを選びます。

ボイス（音声）モード
ボイス（音声）でお知らせします。

コミュニケーション（会話）モード
交信内容が聞けます。

350.1MHzの電波を受信すると

<ボイス（音声）モードのとき>

● 350.1ランプが緑色に点滅し、ボイス（音声）でお知らせします。

- 350.1MHzの電波を一瞬でも受信すると、アラームが1フレーズ鳴ります。また、警報中に再度電波を受信すると、もう1度、1フレーズの警報をします。
- アラームはミュート機能で消すことができます。受信が続いたときは、2フレーズの警報後、自動的にミュート機能が働きます。
- アラームが鳴ったあと、1分以内にもう1度350.1MHzの電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。

<コミュニケーション（会話）モードのとき>

● 350.1ランプが緑色に点滅し、交信内容を聞くことができます。

- 350.1MHzの電波を受信しているときに取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- 交信は数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることは難しくなります。

使いかた／レーダー編

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報できなかった、ループコイル式や光電管式のオービス、そしてLHシステムも、約1km手前からオービスの種類を識別して、音声で警告します。**[GPSボイス警告]**

また、あらかじめメモリーされているオービスポイントに近づいたときに警告するだけでなく、移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、最大30カ所登録でき、そこに近づくと音声で警告します。**[マイ・エリア警告]**

さらに、自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、レーダー警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、そのエリアにおけるレーダー受信感度を最低に制御します。**[MSC/ミニマムセンス制御]**

電池の消耗を防ぐ上手な使いかた

本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、ロングライフ設計および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては、電池の消耗が早くなることがあります。

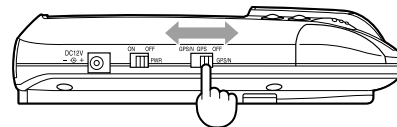
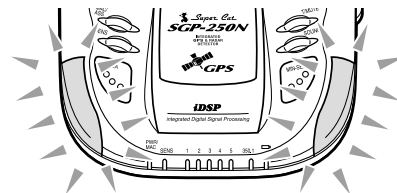
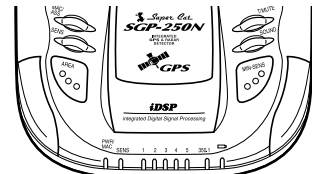
- オービスの位置がわかっている毎日の通勤エリアや、日常の生活圏内を走行する場合は、GPSモードをOFFにすると消費電流を低減できます。
- マイ・エリア警告やミニマムセンス制御も、登録件数の少ない方が、電池の消耗には有利になります。

ローバッテリーの状態では、GPS測位機能は停止しますので、GPSボイス警告をはじめ、GPS測位に関する機能はすべて動作しません。
速やかに、付属のシガープラグコードを接続して、充電しながらご使用ください。

GPS測位機能の使いかた

つづく

1 GPSモードをONにする

GPS/Nモードスイッチで切り換えます。

GPSまたはGPS/Nに切り換えると、GPSの電波をサーチしはじめ、アラームランプが青色に点滅します。

サーチが終わり、GPS測位機能が働くと、アラームランプは消灯します。
初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。

サーチ後、約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

初めての測位のときは、サーチが終わってからも、約15分ほど、そのまま停車を続けると、学習効果により、次からの測位が早くなります。

- サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が約5分以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、アラームランプが点滅します。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。
- 本機は、バッテリーセーブのため、オービスまでの距離が離れているときなど、間欠動作で測位を休む場合があります。そのため、トンネルの中や高架の下など、測位できない場所でも、アラームランプが点滅しないことがあります。
- このように、アラームランプが消灯していても、測位できていない場合があります。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

オービスの種類により、音声で識別して警告します。**[GPSボイス警告/オービス識別ボイス]**

ループコイル式	『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)**高速道(または、一般道)ループコイル式**オービスがあります』
光電管式	『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)**高速道(または、一般道)**オービスがあります』
LHシステム	『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)**高速道(または、一般道)LHシステム式**オービスがあります』
新Hシステム	『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)**高速道(または、一般道)Hシステム式**オービスがあります』

警告ポイントが約500m以内のときは「この先に」→「すぐ先に」とお知らせします。

GPSボイス警告は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警告されません。
さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。**[方向識別ボイス]**

- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは、「左」「右」の識別はしません。

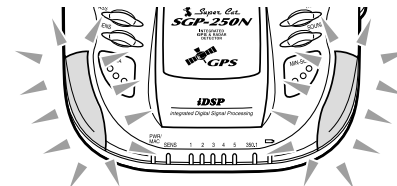
また、高速道路上に設置されているオービスか一般道路上のものかを識別してお知らせします。**[高速/一般道識別ボイス]**

さらに、トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所※で、出口付近のオービスをボイスで警告します。**[トンネル出口警告]**
『ポーン このトンネルの出口付近に高速道(または、一般道)LHシステム式オービスがあります』

※GPS測位の状況または地形状況によっては、1回のみの警告になります。

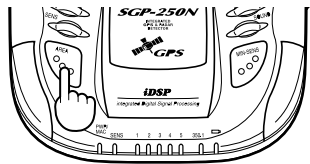
アラームランプが青色に点滅します。

① 約1km〜500m手前で、GPSボイス警告し、約20秒間、青色に点滅します。
② 約500m〜直前で、もう一度GPSボイス警告し、約20秒間、青色の速い点滅をします。**[GPS 2段階警報]**

ただし、GPS測位の状況によっては、1回のみの警報になります。

- 本機はGPS警報よりも、取締りレーダー波受信による警報を優先しますので、GPSボイス警告がされなかったり、中断される場合があります。
- トンネルや高架の下などで、GPSの電波を受信できないところでは、測位できませんので、GPSボイス警告がされない場合があります。

マイ・エリア警告の使いかた

1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点でマイ・エリアボタンを押します。

2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをセットしました』とボイスでお知らせします。

■すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはセットされています』とボイスでお知らせします。

■いったん登録したマイ・エリアを解除(消去)するとき…
マイ・エリア登録されているエリアで、マイ・エリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したマイ・エリアをすべて解除(消去)するとき…
マイ・エリアボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。
• いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、マイ・エリア登録できなかったとき…
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

■マイ・エリア登録が30カ所を超えたとき…
マイ・エリア警告された頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

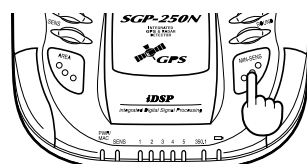
※GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

自分で登録したオービスポイントに近づくと…

『ポーン この先に(または、右方向に/左方向に)セットしたエリアがあります』とボイスで警告します。**[マイ・エリア警告]**
警告エリアが約500m以内のときは、『この先に』→『すぐ先に』とお知らせします。

MSC/ミニマムセンス制御の使いかた

1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴るエリアで、レーダー警報を抑えたい地点でミニマムセンスボタンを押します。

2 ミニマムセンス登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをミニマムセンスにセットしました』とボイスでお知らせします。

■すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

■いったん登録したミニマムセンス・エリアを解除(消去)するとき…
ミニマムセンス登録されているエリアで、ミニマムセンスボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したミニマムセンス・エリアをすべて解除(消去)するとき…
ミニマムセンスボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。
• いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

■ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…
ミニマムセンス登録されているエリアへの侵入頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

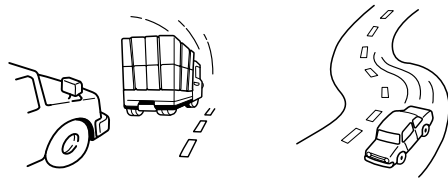
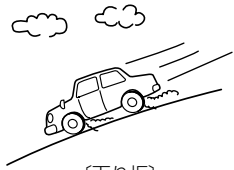
ミニマムセンス登録したエリアに侵入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約300mのエリアに侵入すると、レーダー波の受信感度をミニマム(最低※)にし、不要なレーダー警報を抑えます。
※カットダウンモードよりさらに低感度となります。

GPSボイス警告、トンネル出口警告、マイ・エリア警告はミニマムセンス・エリア内でも警告されます。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

● 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕　〔コーナー〕

〔下り坂〕

● 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

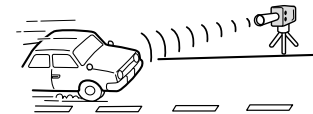
大きく分けて3つの方法があります。

1.追走して測定する方法
（追尾方式）
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信しますが、この追尾方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

2.距離と時間で算出する方法
（光電管式、ループコイル式）
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3.電波を使って算出する方法
（レーダー方式）
電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

現在､スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は､歴史も古く､種類､台数が多いことから､今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

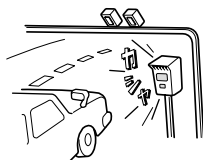
取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（オービスⅢ）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	•電源スイッチがONになっていますか。 •バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 •オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	•太陽光を充分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 •シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
ＭＡＣシステムやＡＳＳ機能、オートパワーＯＦＦ機能が正常に働かない	•ご使用になる車種に合わせてMACレベルスイッチで振動の検出感度を設定してください。振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。また、振動や騒音の激しい場所に駐車するときは、電源を切ってください。 •警報中は音による振動を感知し、低速走行や停車しても警報が続くことがあります。こんなとき、警報をカットする場合は、テスト＆ミュートボタンを押してください。
反応（警報）しない	•電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 •警報機能が正しく働きますか。テスト＆ミュートボタンを押して確認してください。 •MACレベルスイッチが正しく設定されていますか。パイロットランプが赤色で点滅していませんか。パイロットランプが赤色で点滅しているときは警報しません。MACレベルスイッチを正しい位置に設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 •オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。走行中でもオートパワーOFF機能が働く場合は、MACレベルスイッチを設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 •取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスⅢではよくあります） •取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 •ミニマムセンス登録したエリアではありませんでしたか。

故障かな？と思ったら

症状	チェック項目
GPS警報しない	•GPS測位していましたか。 •レーダー警報していませんでしたか。（レーダー警報がGPS警報より優先されます） •新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	•ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 •取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ──取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器── •電波式の自動ドア、防犯センサー •信号機の近くに設置されている車輌通過計測機 •NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 •気象用レーダー、航空レーダーの一部 •他のレーダー探知機の一部 •まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	•警報が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
カーナビゲーションの影響を排除できない	•自動ドアなどの常に電波の出ている場所でエンジンを始動した場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。 •一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。
Nシステムを検知できない	•GPS/Nモードスイッチは「GPS/N」の位置に切り換えていましたか。 •Nシステムセンサーがサンバイザーやフロントガラスのスモークなどで、感知しにくくなっていませんか。取り付け場所を変更してみてください。 •Nシステムは稼動していましたか。稼動していない場合は、検知できません。 •一部の車種に採用されているUVカットガラスにより、検知しにくい場合があります。

仕様

項目	内容
電源電圧	：DC 3.6V（ニッケル水素電池1.2V×3） DC 12V（シガープラグ入力電圧）
消費電流	：待機時：4mA以下（GPS OFF時） 最大：190mA以下（GPS OFF時）
受信方式	：［GPS部］ 12チャンネル/パラレル受信方式 ［レーダー部］ スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数	：［GPS部］1575.42MHz帯 ［レーダー部］Xバンド/Kバンド
動作温度範囲	：－10℃～＋85℃ （GPS受信部－10℃～＋80℃）
本体外形寸法	：78（W）×24（H）×110（D）mm （突起部を除く）
本体重量	：190g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて（つづく）

1. 保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店•お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体（消耗部品を除く）

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名（車種）、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

● **保証期間中のとき**
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

● **保証期間が過ぎているとき**
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. オービスデータの更新

本機にあらかじめ登録されているオービスポイントのデータは、2002年1月現在のものです。新設のオービス等を盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料にて、データ更新させていただきます。お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所•サービス部にお問い合わせください。

アフターサービスについて

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9：00～17：30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター　**TEL.（0564)45-5599**

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL.（011）618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL.（022）284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部　TEL.（03）3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部　TEL.（052）461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL.（06）6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL.（082）230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL.（092）552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

保 証 書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	SGP-250N	
S No.		
お買い上げ日 年 月 日	保証期間	対象部分 機器本体(消耗品は除く) お買い上げの日から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.( )
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0635-A